

## クボタ、中国でトラクタの生産を開始

Edited By LogisticsToday On 2012/12/19

クボタは19日、中国の現地法人「久保田農業機械（蘇州）」で来年1月からトラクタの生産を開始する、と発表した。現地生産により、コスト競争力を強化し、中国市場でトラクタの拡販を目指す。

同社は、中国で農業の機械化需要が高まった1998年に現地法人を設立して、コンバイン、田植機の生産と販売を行い、トラクタは09年に中国市場へ投入、日本からの輸出販売を行っている。

今後、中国でさらに販売を拡大するためには、コスト競争力の強化が課題だとして、現地生産により、為替変動リスクを低減するとともに、2014年に量産を開始する「久保田発動機（無錫）」から基幹部品であるエンジンを調達するなど、部品の現地調達率を引き上げることでコスト競争力を強化する。

中国で拡大している高馬力の需要に対応するため、70馬力クラスのトラクタから生産を開始し、16年には100馬力以上のトラクタの生産も開始する計画。

### ■新工場の概要

所在地	中国 江蘇省 蘇州市
生産面積	11,000m <sup>2</sup> (KAMSのレンタル工場内)
投資額	約3億円
生産品目	中国市場向けトラクタ
生産能力	約1万台/年(2015年時点)
量産開始	2013年1月予定
従業員数	トラクタ生産従事者 約200名(2015年時点)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/57679>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.